

鳥取県有種雄牛 ‘礼美茂’

1 ‘礼美茂’の造成

(1) 背景・目的

畜産試験場では優秀な種雄牛の造成を期待する農家要望に応え、鳥取県和牛改良方針に基づき、県内和牛の改良を促進するために独自性の高い種雄牛造成に取り組んできた。

その種雄候補牛の遺伝的産肉能力を判定する現場後代検定を2003年から実施し、19頭が種雄牛として選抜されてきた。2017年5月に新たに‘礼美茂’が好成績で選抜されたので紹介する。



(2) ‘礼美茂’の要約

1) 血統

‘礼美茂’は県内脂肪交雑育種価が2位の母‘れみ’に、‘百合茂’を交配し作出され、血統的には気高系と但馬系のハーフとなる。

2) 育種価評価

2017年4月評価で、肉質に大きく影響する脂肪交雑及びロース芯面積が、県内雌牛の上位1/10を大きく超える数値となっており肉質の改良が期待できる。

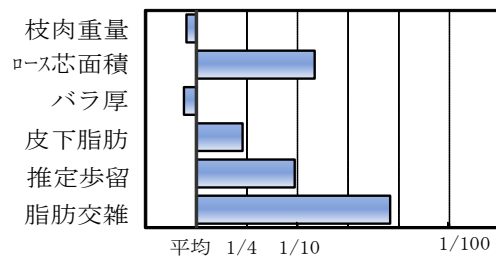
百合茂 黒原 4086 (88.8) [鹿児島・薩摩]	平茂勝 黒原2441(89.0) [鹿児島・薩摩] 直検1.47 間検1.01 3.3	第20平茂 黒育134(84.7)	気高 黒育9 第13ひらしげ 黒高16819
	直検1.54 現検H14	しらゆり 黒1968419 (78.8) [鹿児島・薩摩]	ふくみ 黒高106567(81.0) 宝勝 黒育175 はつこ 黒原156592
れみ 黒 2229254 (81.3) [鳥取・西伯] 育種価BABAAA	安福久 黒原4416(85.5) [栃木・那須]	神高福 黒高929	忠福 黒育129 めぐみ 黒69294
	みるくのさと5 黒 2149888 (83.5) [鳥取・西伯]	第2しらき1 黒原661658(82.3)	忠福 黒育129 第2しらき 黒原567255
		安福165の9 黒原1683(81.0)	安福(岐阜) 黒育180 しげふじ13の7 黒高67760
		もとじろう 黒1868119(82.5)	紋次郎 黒高938 もとひかり 黒原645592
		勝忠平 黒原3800(87.5)	平茂勝 黒原2441 うめ2 黒原788266
		きよこ 黒原809571	神高福 黒高929 よしこ 黒高118579

育種価評価(遺伝的能力評価値)

	礼美茂	県内雌牛平均
枝肉重量	25.91	29.90
ロース芯面積	14.91	7.27
バラ厚	0.63	0.70
皮下脂肪厚	-0.56	-0.34
推定歩留	2.54	1.41
脂肪交雑	2.49	1.32

2017年4月評価

県内雌牛との育種価比較



※「平均」「1/4」「1/10」「1/100」はそれぞれ県内供用中雌牛の「平均」「上位1/4」「上位1/10」「1/100」の育種価を示す

2 試験成果の概要

【現場後代検定成績】

性別	母の父	母の祖父	肥育者氏名	と畜場所	と畜月齢	格付	枝肉重量	ロース芯面積	バラ厚	皮下脂肪厚	歩留	BMS	脂肪交雑等級	BCS	オレイン酸含有率
去勢	光平照	茂勝栄	広島産肉能力検定場	東京	28.5	A 5	461.0	65	8.3	2.2	75.7	12	5	4	
去勢	第2平茂勝	美津福	畜産試験場	名和	28.3	A 5	549.4	64	8.9	4.0	73.2	12	5	3	50.1
去勢	平茂晴	百合茂	畜産試験場	名和	28.1	A 5	557.1	68	9.0	3.0	74.6	11	5	4	49.7
去勢	勝忠平	福栄	肥育農家B	名和	28.1	A 5	461.1	65	7.7	2.0	75.5	10	5	3	54.2
去勢	第2平茂勝	安福165の9	北海道産肉能力検定場	十勝	28.4	A 5	460.0	53	7.6	2.3	73.5	9	5	4	
去勢	安平吉	第1糸茂勝	広島産肉能力検定場	東京	28.5	A 5	465.0	60	8.0	2.1	74.9	8	5	4	
去勢	安福165の9	平茂勝	畜産試験場	名和	28.3	A 4	468.4	64	7.9	3.2	74.3	7	4	4	49.4
去勢	勝忠平	北国7の8	広島産肉能力検定場	東京	28.7	A 4	457.0	54	7.4	1.6	74.3	7	4	4	
去勢	平茂勝	安平	肥育農家C	名和	28.3	A 4	409.7	57	7.2	2.2	74.5	6	4	4	51.7
去勢	美津福	第2富藤	県外肥育農家	東京	28.7	A 4	426.0	57	7.2	2.1	74.4	6	4	4	
去勢	北国7の8	安福165の9	広島産肉能力検定場	東京	29.1	A 4	427.0	47	7.4	2.5	72.9	6	4	4	
去勢	菊福秀	紋次郎	広島産肉能力検定場	東京	29.1	A 4	435.0	51	6.5	2.2	73.0	6	4	4	
去勢	美津福	北国7の8	広島産肉能力検定場	東京	28.6	A 4	416.0	49	7.4	2.6	73.2	6	4	4	
去勢	北福栄	金平勝	肥育農家A	神戸	27.7	A 4	437.0	54	7.0	2.4	73.5	5	4	4	52.9
雌	北国7の8	紋次郎	県外農家	名古屋	28.5	A 5	474.2	63	7.8	3.7	73.5	10	5	3	
雌	安福(岐阜)	第1花国	肥育農家D	名和	29.3	A 5	405.9	74	8.2	1.4	78.1	10	5	4	53.9
雌	平茂晴	白清85の3	肥育農家B	仙台	30.7	A 5	474.0	69	8.5	2.9	75.5	10	5	4	
雌	茂勝栄	糸福(鹿児島)	畜産試験場	仙台	30.8	A 5	508.5	74	8.2	4.2	74.4	10	5	4	
雌	平茂勝	福谷1	県外農家	東京	29.5	A 5	422.0	65	7.6	2.1	75.8	9	5	4	
雌	福栄	北国7の8	県外農家	三重		A 5	395.1	69	7.8	2.5	76.3	8	5	4	
雌	勝忠平	平茂晴	肥育農家E	仙台	29.6	A 5	487.5	73	8.4	5.0	73.8	8	5	4	
雌	福栄	平茂勝	県外農家	豊橋	26.7	A 4	448.0	55	8.2	2.3	74.4	7	4	3	

全体	22頭	456.6	61.4	7.8	2.7	74.5	8.3	4.6	3.8	51.7
去勢	14頭	459.3	57.7	7.7	2.5	74.1	7.9	4.4	3.9	51.3
雌	8頭	451.9	67.8	8.1	3.0	75.2	9.0	4.9	3.8	53.9

注) 単位は枝肉重量：kg ロース芯面積：cm² バラ・皮下：cm
歩留・オレイン酸含有率：%

検定の結果、BMS ナンバーは改良目標である8.0を0.3上回る8.3であった。また、調査した全頭が肉質等級4等級以上と県の改良目標の80%以上を大きく上回った。

3 普及の対象及び注意事項

本牛は枝肉重量がやや小さい傾向があるので、和牛に交配する場合は大型の雌への交配が望ましい。また、子牛も小さい傾向があるので、乳用牛への交配によるF1生産利用に有効と考えられる。

4 試験担当者

(育種改良研究室 主任研究員 入江誠一)